



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大曲 昌夫 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	139,312	11.9	23,355	9.4	22,733	50.3	16,291	61.1
29年3月期第1四半期	124,519	△3.2	21,356	9.8	15,123	△26.6	10,110	△30.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 21,659百万円 (ー%) 29年3月期第1四半期 △29,494百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	46.28	43.08
29年3月期第1四半期	27.86	25.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	1,041,059	503,646	48.3	1,429.31
29年3月期	1,021,405	489,554	47.9	1,389.70

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 503,087百万円 29年3月期 489,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	20.00	ー	22.00	42.00
30年3月期	ー				
30年3月期(予想)		22.00	ー	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	276,000	12.6	39,000	△0.9	37,500	22.5	25,000	22.4	71.03
通期	575,000	11.8	82,000	7.1	79,500	16.0	53,000	△2.3	150.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

・年間想定レート：1ドル=110円、1ユーロ=120円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	379,760,520株	29年3月期	379,760,520株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	27,781,030株	29年3月期	27,781,520株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	351,979,083株	29年3月期1Q	362,969,689株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(表示方法の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日、以下「当第1四半期」)における医療市場では、先進国を中心に医療費抑制が進められる中、米国で無保険者の解消などを目的として導入された医療保険制度改革法の見直しに向けて議論が進められました。日本では、財源の重点的・効率的な配分を目的として、医薬品・医療機器の費用対効果評価の導入に向けた検討が行われました。

このような環境の下、当社グループでは、「日本発のグローバル企業」として、トータルクオリティ(製品・供給・サービスなどを含めたトータルな質)においてワールドクラスの信頼を獲得し、世界の医療現場からトップブランドとして信頼されるメーカーとなることを中長期ビジョンとして掲げ、経営を推進しております。

当第1四半期の業績は以下のとおりであります。

<売上高>

売上高は、前年同期比11.9%増の1,393億円となりました。

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
売上高	124,519	139,312	11.9	10.7
売上総利益	69,181	78,255	13.1	14.6
営業利益	21,356	23,355	9.4	17.0
経常利益	15,123	22,733	50.3	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,110	16,291	61.1	—

(単位:百万円)

地域別売上高	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
日本	45,451	44,915	△1.2	△1.2
欧州	24,737	27,747	12.2	12.0
米州	32,917	41,130	25.0	21.4
アジア他	21,413	25,519	19.2	18.0
海外計	79,068	94,397	19.4	17.5
合計	124,519	139,312	11.9	10.7

日本では、心臓血管カンパニーで、アクセスデバイスや2月に発売した超音波画像診断装置「VISICUBE」(ビジキューブ)及び血管内超音波カテーテル「AltaView」(アルタビュー)の販売が好調に推移し、増収となりました。ホスピタルカンパニーは、医療器の製品で代理店の在庫調整に加え、輸液ポンプ・シリンジポンプの買い控えの影響などもあり、減収となりました。その結果、日本全体では減収となりました。

海外では、心臓血管カンパニーで、止血デバイス事業など前期に買収した事業・製品の売上寄与もあり、TIS(カテーテル)、ニューロバスキュラー(脳血管)、CV、血管全ての事業で売上が伸長しました。さらに、血液システムカンパニーで血液センター向け及びアフレス治療分野の販売が堅調に推移した結果、増収となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、売上の増加に加えて、ホスピタルカンパニー及び血液システムカンパニーにおける原価低減なども寄与し、前年同期比13.1%増の783億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、販売費及び一般管理費の増加を売上総利益の増加により吸収し、前年同期比9.4%増の234億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、営業利益の増加に加えて、前年同期の為替差損に対し当第1四半期は為替差益を計上したこともあり、前年同期比50.3%増の227億円となりました。

<親会社株主に帰属する四半期純利益>

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に加えて税負担率の軽減もあり、前年同期比61.1%増の163億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上高	63,699	79,057	24.1	22.4
	(日本)	12,789	13,491	5.5	5.5
	(海外)	50,910	65,566	28.8	26.7
ホスピタルカンパニー	売上高	38,383	36,867	△3.9	△4.3
	(日本)	30,113	28,947	△3.9	△3.9
	(海外)	8,269	7,919	△4.2	△5.6
血液システムカンパニー	売上高	22,387	23,333	4.2	3.0
	(日本)	2,499	2,422	△3.1	△3.1
	(海外)	19,888	20,911	5.1	3.8

<心臓血管カンパニー>

日本では、TIS(カテーテル)事業で、アクセスデバイスや超音波画像診断装置「VISICUBE」及び血管内超音波カテーテル「AltaView」などの販売が堅調に推移し、増収となりました。

海外では、TIS事業で止血デバイスを含むアクセスデバイスの販売が好調に推移しました。また、ニューロバスキュラー(脳血管)、CV、血管の各事業も堅調に推移し、海外全体で大幅な増収となりました。

その結果、心臓血管カンパニーの売上高は前年同期比24.1%増の791億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

日本では、医療器の製品で代理店の在庫調整に加え、輸液ポンプ・シリンジポンプの買い控えの影響がありました。また、医薬品及びヘルスケア分野の製品で収益性改善を目的とした供給終了やアカウントの整理を行ったことに加え、アライアンス事業において当期は前期と異なり下期に受注を多く見込んでいることもあり、ホスピタルカンパニーの売上高は前年同期比3.9%減の369億円となりました。

<血液システムカンパニー>

中南米やアジアで血液センター向けの販売が堅調に推移しました。また、米州を中心にアフレス治療分野の売上も伸長しました。

その結果、血液システムカンパニーの売上高は前年同期比4.2%増の233億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ197億円増加して10,411億円となりました。

流動資産は現金及び預金の増加等により、234億円増加して3,726億円となりました。

固定資産は35億円減少して6,646億円となりました。有形固定資産は28億円増加、無形固定資産は68億円減少、投資その他の資産は6億円増加となりました。

(負債)

負債の部は56億円増加して5,374億円となりました。

流動負債は短期借入金の返済等により、1,340億円減少して1,144億円となりました。

固定負債は長期借入の実行等により、1,395億円増加して4,230億円となりました。

(純資産)

純資産の部は、141億円増加して5,036億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.4ポイント増加し、48.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月10日に発表した第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想に変更はありません。医療機器・医薬品業界を取り巻く環境の変化や為替レートの動向など、事業環境は不透明な状況が続くことが予想されますが、当社グループは目標の達成に向けて、医療の質と効率の向上に貢献する高付加価値製品の開発及び販売拡大、継続的な原価改善、販売費及び一般管理費の効果的な運用などに注力してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105,388	124,142
受取手形及び売掛金	109,508	109,762
たな卸資産	106,712	111,891
繰延税金資産	17,501	16,179
その他	11,503	12,009
貸倒引当金	△1,430	△1,383
流動資産合計	349,183	372,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,310	64,097
機械装置及び運搬具（純額）	53,359	53,415
土地	22,471	22,474
リース資産（純額）	1,780	1,727
建設仮勘定	30,445	32,357
その他（純額）	11,754	11,814
有形固定資産合計	183,122	185,887
無形固定資産		
のれん	217,334	213,855
顧客関連資産	85,338	83,679
技術資産	105,581	103,696
その他	46,463	46,639
無形固定資産合計	454,717	447,870
投資その他の資産		
投資有価証券	12,463	12,486
繰延税金資産	6,727	6,753
退職給付に係る資産	757	895
その他	10,263	10,672
投資その他の資産合計	30,212	30,807
固定資産合計	668,052	664,566
繰延資産		
繰延資産合計	4,169	3,891
資産合計	1,021,405	1,041,059

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,451	37,727
短期借入金	120,000	—
1年内返済予定の長期借入金	7,853	7,840
リース債務	231	190
未払法人税等	9,688	6,816
繰延税金負債	23	48
賞与引当金	6,317	2,988
役員賞与引当金	190	47
設備関係支払手形及び未払金	7,059	7,552
資産除去債務	72	—
その他	58,502	51,214
流動負債合計	248,389	114,426
固定負債		
社債	30,000	50,000
転換社債型新株予約権付社債	100,135	100,122
長期借入金	80,578	200,418
リース債務	230	217
繰延税金負債	47,501	47,136
役員退職慰労引当金	14	3
退職給付に係る負債	6,803	6,966
資産除去債務	84	85
その他	18,113	18,035
固定負債合計	283,462	422,986
負債合計	531,851	537,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	50,928	50,928
利益剰余金	459,261	467,807
自己株式	△108,225	△108,224
株主資本合計	440,680	449,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,706	1,916
繰延ヘッジ損益	△560	△31
為替換算調整勘定	56,257	60,441
退職給付に係る調整累計額	△8,938	△8,467
その他の包括利益累計額合計	48,464	53,859
新株予約権	307	348
非支配株主持分	101	210
純資産合計	489,554	503,646
負債純資産合計	1,021,405	1,041,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	124,519	139,312
売上原価	55,338	61,057
売上総利益	69,181	78,255
販売費及び一般管理費	47,824	54,900
営業利益	21,356	23,355
営業外収益		
受取利息	117	113
受取配当金	150	61
受取ロイヤリティー	52	30
為替差益	—	206
その他	113	328
営業外収益合計	433	739
営業外費用		
支払利息	295	290
売上割引	115	110
為替差損	5,484	—
持分法による投資損失	246	181
たな卸資産処分損	3	1
開業費償却	277	277
その他	242	498
営業外費用合計	6,666	1,361
経常利益	15,123	22,733
特別利益		
固定資産売却益	1	0
補助金収入	—	154
債務勘定整理益	—	555
特別利益合計	1	710
特別損失		
固定資産処分損	45	8
特別損失合計	45	8
税金等調整前四半期純利益	15,079	23,435
法人税、住民税及び事業税	3,020	6,411
法人税等調整額	1,972	758
法人税等合計	4,992	7,170
四半期純利益	10,086	16,265
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24	△25
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,110	16,291

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	10,086	16,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,969	210
繰延ヘッジ損益	△29	529
為替換算調整勘定	△37,447	4,183
退職給付に係る調整額	872	471
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△0
その他の包括利益合計	△39,580	5,394
四半期包括利益	△29,494	21,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,464	21,686
非支配株主に係る四半期包括利益	△29	△26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

従来、一部の生産子会社では、間接部門の人件費等の諸費用を販売費及び一般管理費として表示しておりましたが、前連結会計年度より売上原価として表示する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、販売費及び一般管理費に表示していた545百万円を売上原価に組替えております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,699	38,383	22,387	124,470	49	124,519
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	63,699	38,383	22,387	124,470	49	124,519
のれん等償却除くセグ メント利益	19,510	5,224	2,700	27,436	△1,528	25,907
セグメント利益	19,084	5,224	△1,424	22,884	△1,528	21,356
のれん等償却除くセグ メント利益率(%)	30.6	13.6	12.1	22.0	—	20.8

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額49百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入であります。
- (2) セグメント利益の調整額△1,528百万円には、たな卸資産の調整額492百万円、その他△2,021百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	79,057	36,867	23,333	139,258	53	139,312
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	79,057	36,867	23,333	139,258	53	139,312
のれん等償却除くセグ メント利益	20,586	5,704	3,522	29,812	806	30,619
セグメント利益	17,551	5,704	△706	22,549	806	23,355
のれん等償却除くセグ メント利益率(%)	26.0	15.5	15.1	21.4	—	22.0

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額53百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入であります。
- (2) セグメント利益の調整額806百万円には、たな卸資産の調整額166百万円、その他640百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。